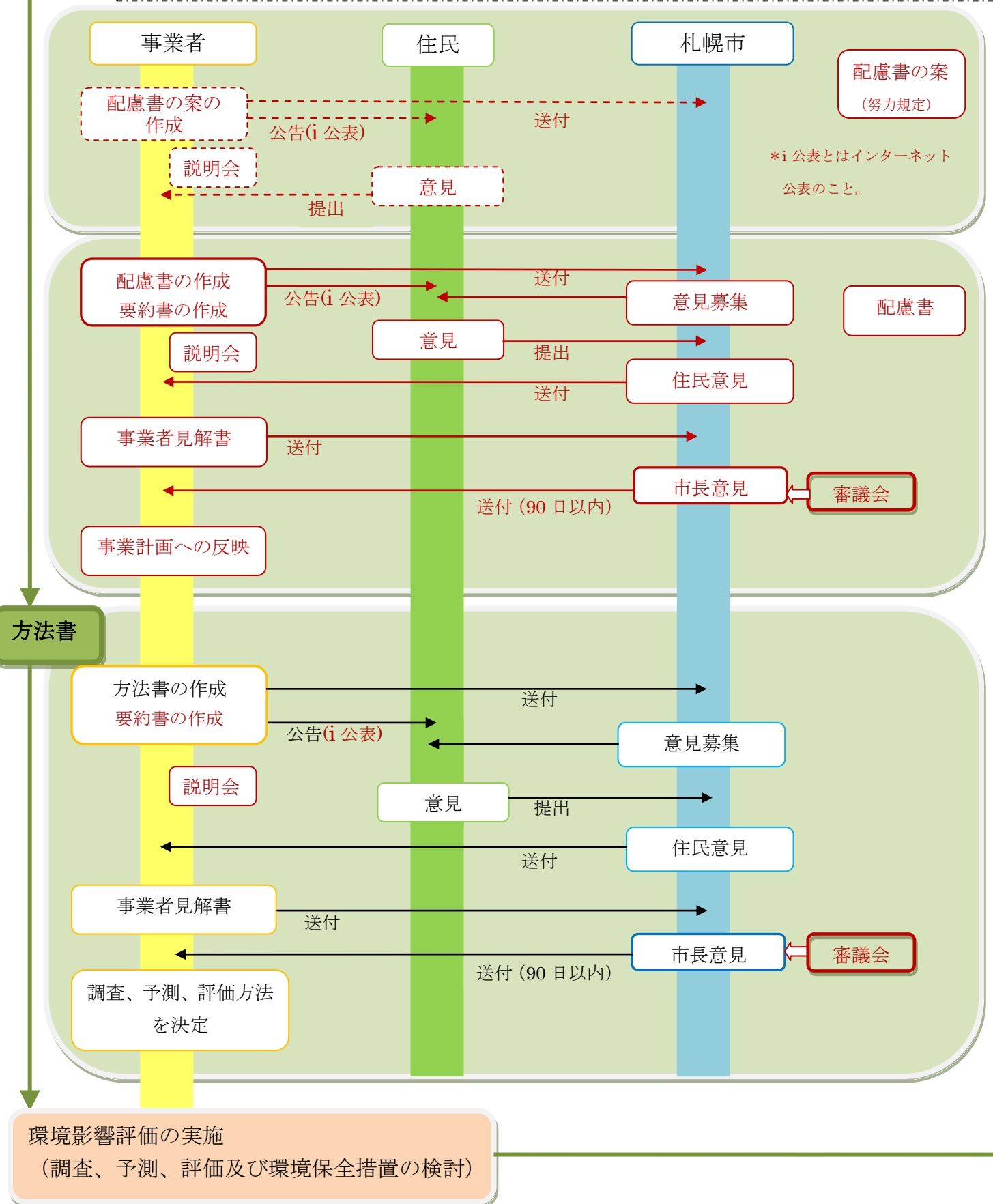


*赤字が追加部分

札幌市環境影響評価条例改正5つのポイント

配慮書

【配慮書とは】：事業者が、事業の位置・規模等の検討段階において、環境の保全のために配慮すべき事項について検討を行い、その結果をまとめたもの。
 ☞事業に係る位置・規模又は構造物等の構造・配置に関する複数案を設定することを基本とする。

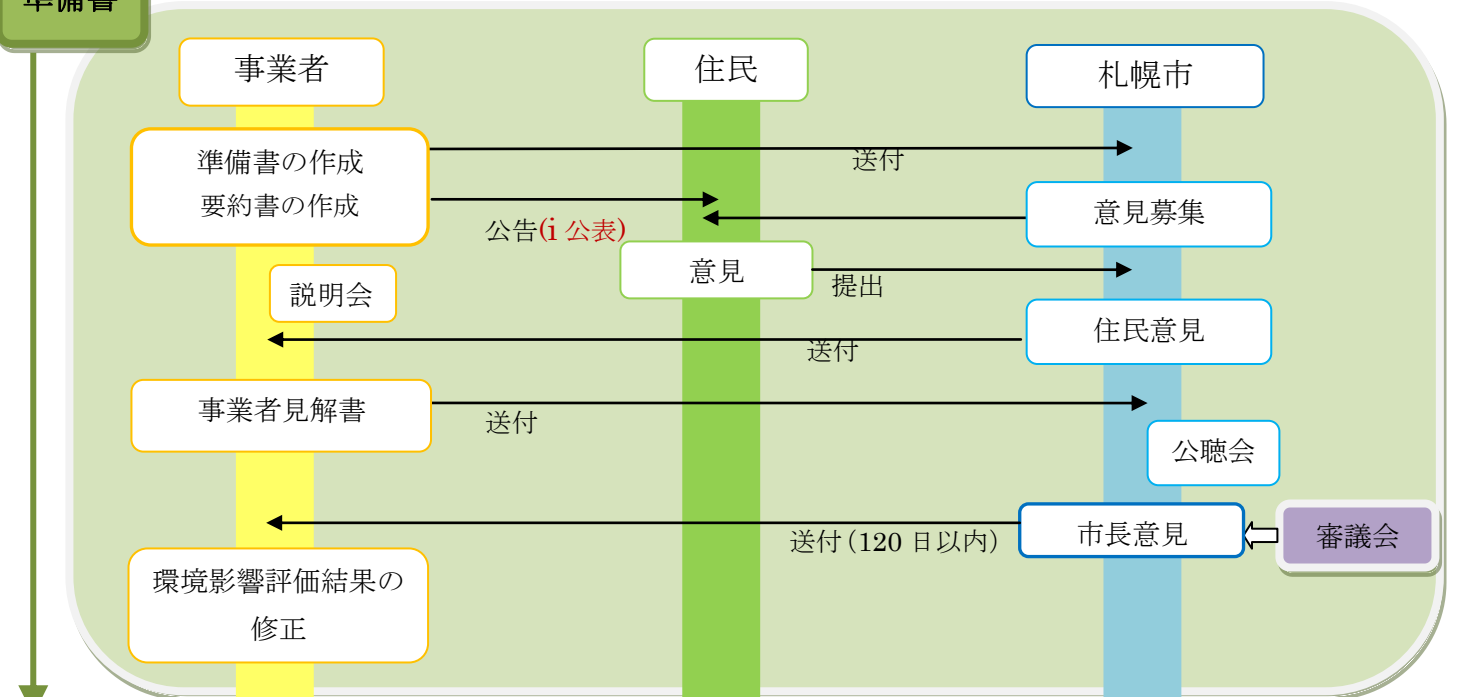


方法書

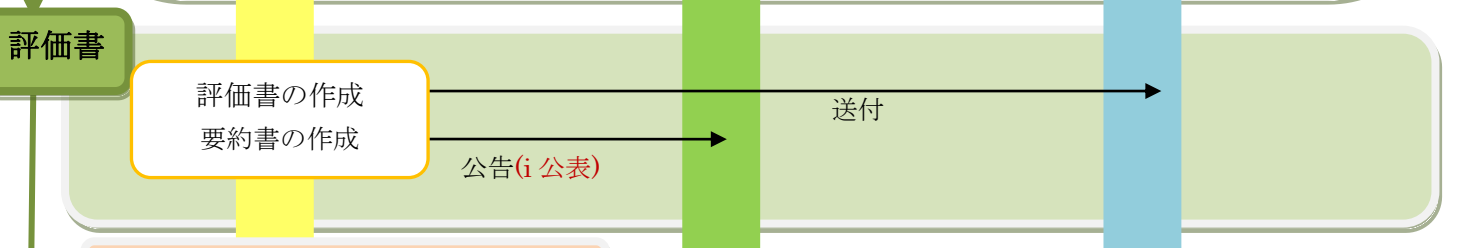
環境影響評価の実施
 (調査、予測、評価及び環境保全措置の検討)

- 1 配慮書手続きの導入 (対象とする事業は第1種事業 (第2種事業は任意))
- 2 方法書手続きの充実 (要約書の作成、説明会の実施、審議会関与の義務化)
- 3 配慮書、方法書、準備書、評価書、事後調査報告書のインターネット公表 (i公表)
- 4 風力発電所を対象事業に追加 (第1種事業：総出力1,500W程度以上)
- 5 事後調査報告書手続きの充実 (事業者見解書の作成、市長意見、審議会関与、公表は事業者が自ら実施)

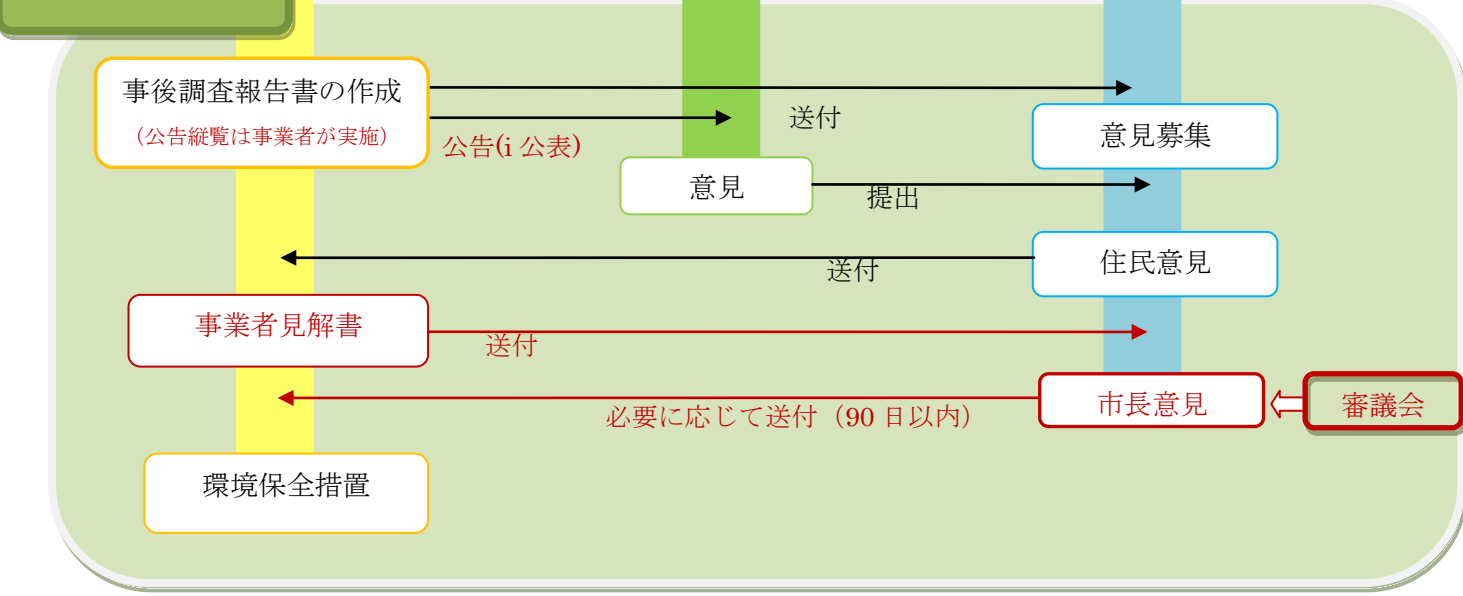
準備書



評価書



事後調査報告書



事業の実施・環境保全措置の実施